

第7次厚木市行政改革大綱 令和6年度の取組状況について

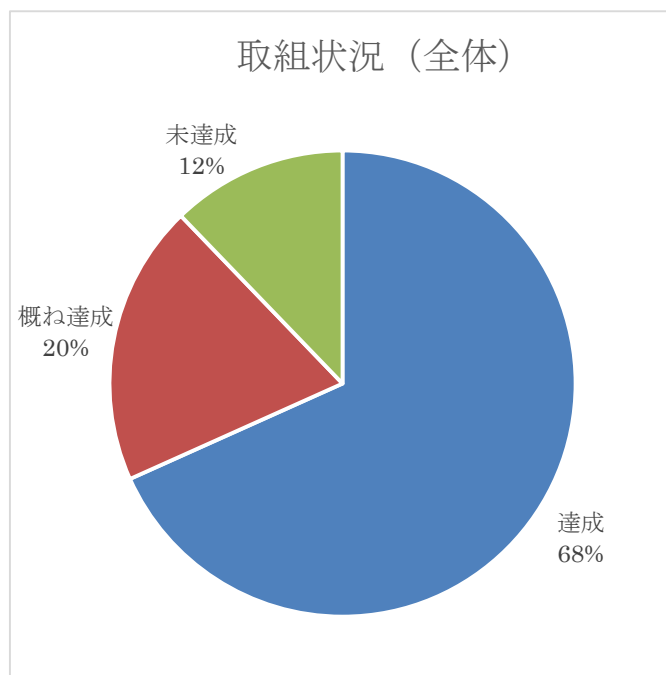
1 令和6年度取組状況について

令和6年度から8年度までを計画期間とする第7次厚木市行政改革大綱第2期実施計画では、22の取組を位置付け、41項目の成果指標を設定しています。

令和6年度については、41項目の成果指標を設定しており、取組状況は次のとおりです。

2 令和6年度取組状況（全体）

重点項目	成果指標 設定項目	目標達成 項目 (100%以上)	目標概ね 達成項目 (80%以上 100%未満)	目標未達 成項目 (80%未満)	概ね 達成率 (80% 以上)
①強くしなやかな組織をつくる	21項目	15項目	4項目	2項目	90.5%
②強い財政基盤を確立する	12項目	8項目	2項目	2項目	83.3%
③市民協働により公共サービスを向上させる	8項目	5項目	2項目	1項目	87.5%
合計	41項目	28項目	8項目	5項目	87.8%



成果指標については、全41項目のうち28項目が達成、8項目が概ね達成となり、全体の約88%が目標を達成したことから、全体的に順調な進捗状況といえる。一方で、未達成となった5項目（全体の約12%）については、その要因を分析し、今後の取組に反映していく。

3 令和6年度取組状況（重点目標ごと）

実施計画体系図

I 強くしなやかな組織をつくる	II 強い財政基盤を確立する	III 市民協働により公共サービスを向上させる
<p>(1) 職員の能力向上</p> <p>ア 職員の人材育成 イ 職員のモラルとモチベーションの向上 ウ 技術職員の更なる専門性向上</p>	<p>(1) 事業見直しの徹底</p> <p>ア 評価結果を踏まえた事業の見直し イ 職員の意識改革</p>	<p>(1) 更なる市民協働の推進</p> <p>ア 市民協働によるまちづくりの推進</p>
<p>(2) 持続可能な行政経営を実現する組織体制の構築</p> <p>ア 持続可能な組織体制・執行体制の構築 イ 人材の確保 ウ 災害時における円滑な業務執行</p>	<p>(2) 歳入の確保</p> <p>ア 財源の確保 イ 持続可能な財政基盤の構築 ウ 債権の確実な収納</p>	<p>(2) 多様な担い手とのパートナーシップの確立</p> <p>ア 地域コミュニティ団体等の活動支援 イ 民間活力の活用 ウ 更なる広域連携の推進</p>
<p>(3) 生産性の向上・業務効率化</p> <p>ア ウェルビーイング経営の推進 イ DXの推進 ウ 市民の利便性の向上</p>	<p>(3) 公共建築物の最適化・市有財産の有効活用</p> <p>ア 公共建築物の最適化 イ 市有財産の有効活用</p>	<p>(3) 公平な行政サービスの確立</p> <p>ア 負担の公平性の確保 イ 補助金等の見直し</p>

(1) 強くしなやかな組織をつくる

	分類	指標名	実績 (目標)
達成・概ね達成指標 (19項目) ※抜粋	(1)ーイ 職員のモラルとモチベーションの向上	マネジメント研修等の実施状況	新任主幹・課長職を対象に実施 (実施)
	(2)ーア 持続可能な組織体制・執行体制の構築	庁内応援の実施件数	21件 (25件)
	(3)ーア ウェルビーイング経営の推進	男性育休取得率	72.1% (65%)
	(3)ーイ DXの推進	電子契約の導入率	約20% (10%)
	(3)ーウ 市民の利便性の向上	電子申請システムを活用する手続数	126件 (85件)
未達成指標 (2項目)	(2)ーイ 人材の確保	専門職を必要とする職場への人事配置率	77% (100%)
	(2)ーイ 人材の確保	職員採用試験申込者数	729人 (1,000人)

主な成果・課題

今年度は、新たに主幹職や課長職に就いた職員を対象に研修を実施し、部下の育成およびマネジメント力の向上を図った。また、庁内の応援体制においては、公募による全庁的な応援制度を実施するなど、主体的に行動できる職員の育成に努めた。

さらに、DX 推進や市民サービスの向上の観点から、電子契約の導入や電子申請の活用に取り組み、一定の成果を上げた。一方で、人材確保は依然として重要な課題であり、今後は人員配置の適正化に向けた精査や、業務体制の見直しが求められる。

今後の取組

引き続き、組織の核となる管理職層を対象とした研修を実施し、マネジメント力の向上を図るとともに、職員のモチベーションを高め、組織全体の力の底上げを図っていく。

複雑・多様化する行政課題に対応するため、部門を越えて連携し、課題を解決できる人材の育成を目指す。また、自らのキャリア形成の一環として庁内応援制度を積極的に活用し、主体的に行動できる職員の育成を図っていく。

AI 技術の活用や電子申請の拡充については、職員向け研修や庁内周知を通じて利活用を促進し、市民の利便性向上と業務の効率化の両立を図っていく。

さらに、人材確保においては、新卒者に限らず既卒者にも対象を広げた採用活動を展開し、誰もが応募しやすい環境の整備を進めるとともに、職員が心身ともに健康で安心して業務に取り組める職場環境の整備を進め、働きやすい職場の実現に努める。

(2) 強い財政基盤を確立する

	分類	指標名	実績 (目標)
達成・概ね 達成指標 (10項目) ※抜粋	(1)ーア 評価結果を踏まえた事業の見直し	事務事業評価により事業の縮小・廃止を検討した事業数	6事業 (2件)
	(2)ーア 財源の確保	広告料収入（現物納付を除く）	17,203千円 (15,000千円)
	(2)ーウ 債権の確実な収納	各債権の収納率	98% (100%)
	(3)ーイ 市有財産の有効活用	現本庁舎敷地跡地等の取組にに対する市民への意見聴取の機会	14回 (6回)
未達成指標 (2項目)	(2)ーア 財源の確保	ネーミングライツ導入数（累計）	2件 (3件)
	(2)ーイ 持続的な財政基盤の構築	設備投資額	167,400千円 (280,000千円)
主な成果・課題			
<p>事務事業評価を実施し、関係課と連携して事業の見直しを図った。</p> <p>広告事業では、及川球技場へのネーミングライツ導入があったこともあり、目標を大きく上回る成果を挙げた。</p> <p>一方で、ネーミングライツについては対象施設や金額の目安が示されていないことから、企業等にとって提案がしにくい状況となっており、新規導入には至らなかった。</p> <p>また、市内中小企業の設備投資を支援する補助金については、物価高騰などの影響により投資意欲が低下し、申請件数が伸び悩んだ。</p> <p>各債権の収納については、催告状の発送やコールセンターによる早期納付の勧奨、口座振替の推奨などに取り組み、滞納処分早期着手を図ることで、収納率の向上に努めた。</p> <p>さらに、新庁舎建設に伴う現本庁舎跡地等の有効活用については、市民アンケート、オープンハウス、意見交換会などを通じて市民の意見を反映し、基本方針を策定した。</p>			

今後の取組

今後も、広告事業における媒体や手法について研究を進めるとともに、導入時に発生する人件費などのコストにも留意しながら、新たな取組を推進していく。

ネーミングライツについては、令和7年度に対象施設の例や金額の目安を公開したところであり、今後も企業等が提案しやすい制度を目指して、新規導入に取り組んでいく。

また、各債権の管理においては、滞納を未然に防ぐことや、高額な滞納に至る前に早期対応を行うことにも留意し、引き続き適切な手法を講じていく。

本庁舎敷地跡地の活用については、新たな附属機関の設置やスポーツチーム等へのヒアリングを通じて、多様な意見を丁寧に聴取し、基本計画の策定に向けた取組を着実に進めていく。

(3) 市民協働により公共サービスを向上させる

	分類	指標名	実績 (目標)
達成・概ね 達成指標 (7項目) ※抜粋	(1)ーア 市民協働によるまちづくりの推進	市民協働提案事業の実施件数	5件 (6件)
	(2)ーウ 更なる広域連携の推進	協定に基づく企業との連携数(累計)	6件 (2件)
	(3)ーア 負担の公平性の確保	使用料見直し検討の進捗状況	見直し案作成及び使用料改正に向けた手続き (見直し案作成)
未達成指標 (1項目)	(2)ーイ 民間活力の活用	PPP/PFI手法の優先的検討の実施件数	0件 (1件)
主な成果・課題			
<p>市民協働提案事業については、申込みしやすい環境を整えるため受付期間を延長した結果、前年度から2件増加となった。</p> <p>広域連携では、さまざまな分野において協定に基づく取組を進め、地域課題の解決に向けた推進を図った。</p> <p>使用料の見直しについては、約10年ぶりとなる料金改定に向けて準備を進め、令和7年10月に一部施設の使用料改定となる。</p> <p>PPP/PFI手法の優先的検討については、令和6年度において、導入を検討すべき事業がなかったことから、実績はゼロとなった。</p>			
今後の取組			
<p>市民協働提案事業については、令和7年度に実施予定の件数が既に7件となっており、今後も継続的な周知に努め、目標値の達成を目指していく。</p> <p>広域連携事業についても、引き続き構成市町村や企業との連携を密にし、地域の行政課題の解決に取り組んでいく。</p> <p>受益者負担の見直しにより、令和7年度の料金改定が決定していることから、改定に伴う事務手続きの調整を引き続き進める。</p> <p>PPP/PFI手法の優先的検討については、要綱に基づき、今後も対象となる事業の検討を継続していく。</p>			